

# LAMP<sup>®</sup>

## 丸型ラバー製手すりシステムLR型 施工要領書

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。

取付作業前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをする恐れがあります。本書の説明、注意事項を守ってください。

取り付け後はお使いになる方に本書を渡し、いつでも取り出せるようにしてください。

### 本製品について

- 手すりの表面は合成ゴムで覆っているためスベリを防止し、体の一部をぶつけても効果的に衝撃を吸収します。また、手ざわりもソフトで冷たくないため、寒冷地などでの使用にも適しています。
- 廊下から階段まで連続設置ができ、手すりが途中で途切れる心配がありません。  
方向性がない丸型で、縦使いでも使用できます。
- 老化、オゾン劣化に優れた合成ゴムを使用しています。  
長期間きれいな状態でご使用いただけます。



### 安全にお使いいただくために

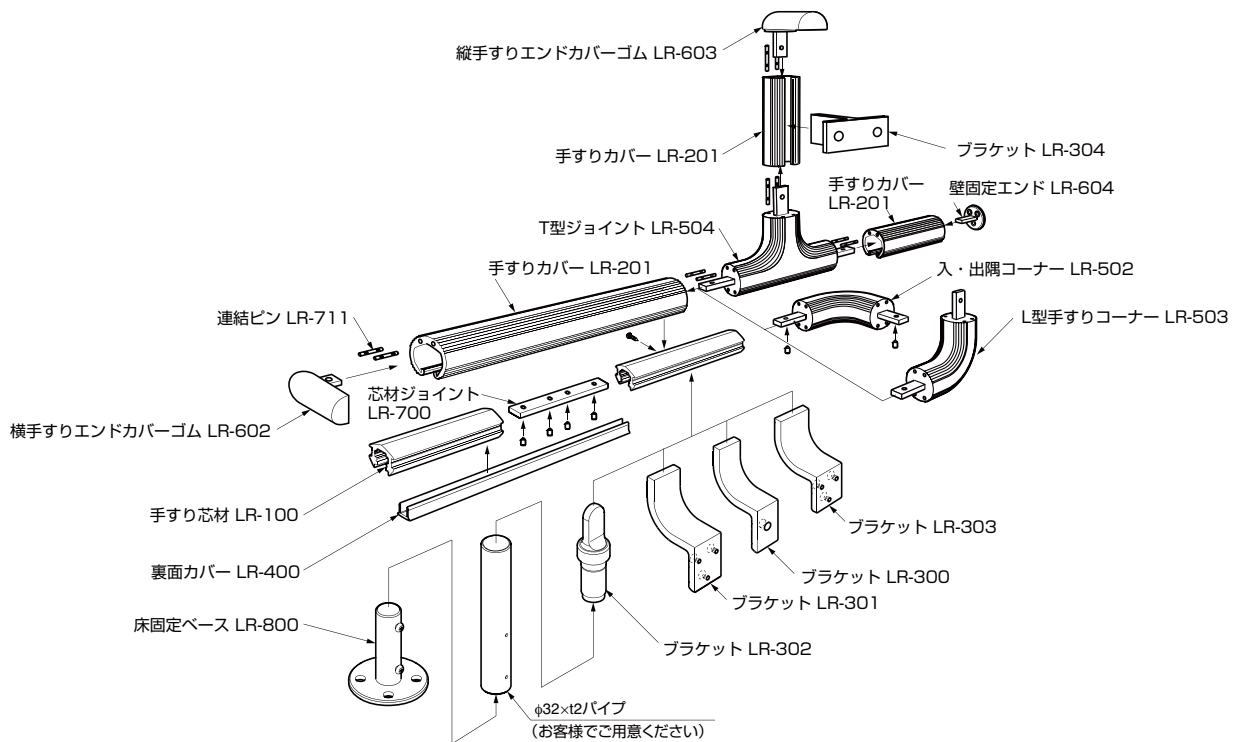
**⚠ 警告** 死亡または重傷を負う恐れがある内容を示します。

- ❗ 本製品の取付工事は、知識、経験のある方が本書に従い正しく行なってください。  
取り付けに不備があると、手すりが脱落したり、落ちてけがをする恐れがあり大変危険です。
- ❗ 本製品の取り付けには、壁面の下地を十分に確認した上で適切なアンカーボルト、ねじを使用し確実に固定してください。  
また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、脱落してけがをする恐れがあります。
- ⊘ 本製品は手すりです。腰掛けたり、製品の上に乗ったり、ぶら下がったり、物を掛けたりしないでください。
- ⊘ 本書で説明する部分以外の分解、および改造は行わないでください。

**⚠ 注意** 軽傷を負うことや、物的損害が発生する恐れがある内容を示しています。

- ❗ ブラケットの最大間隔は、必ず1000mm以内としてください。  
これより広い間隔で取り付けると、手すり坑が曲がったりねじが緩む恐れがあり大変危険です。
- ❗ 部材を切断した場合、切断面のバリやかえりはきれいに取り除いてください。
- ❗ ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。(お使い始めから1ヶ月後と6ヶ月後、その後は1年ごとが目安となります。)
- ❗ 本製品の手すり部分は合成ゴムを使用しています。通常使用においては問題ありませんが、白地の布や紙などを強く押し付けてこすると、合成ゴム中のカーボンが白い面に移行し若干黒くなることがあります。ご注意ください。

## 各部の名称



## 1. ブラケットの取付位置、墨出し

### 1-1. ブラケットの取付高さ

床仕上げ面より手すり上端までの高さ寸法を H とすると、

- LR-301、LR-303/ 木ねじ用ブラケットを使用した場合 [図 1]  
下側木ねじ芯までの寸法  $A = H - 106\text{mm}$
- LR-300/ アンカー用ブラケットを使用した場合 [図 2]  
アンカー芯までの寸法  $B = H - 88\text{mm}$   
※手すり上端の寸法 (手すり高さ) は、利用される人の年齢、身長によって決定してください。

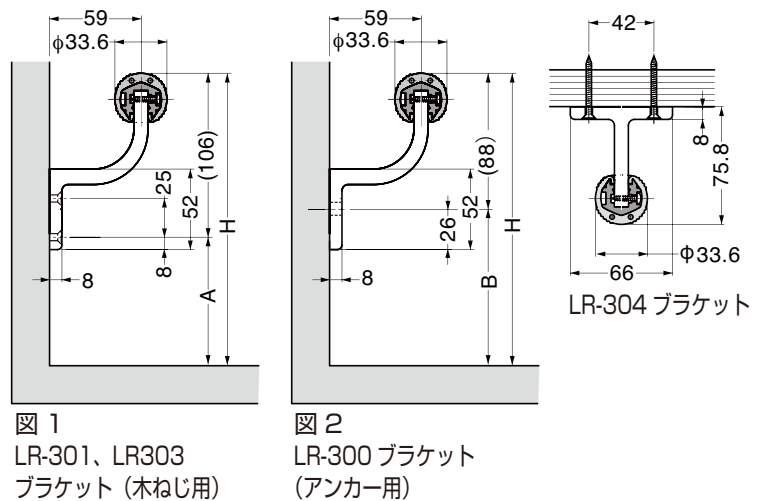


図 1  
LR-301、LR303  
ブラケット (木ねじ用)

図 2  
LR-300 ブラケット  
(アンカー用)

### 1-2. ブラケットの取付ピッチ (間隔)

ブラケットの取付ピッチ (間隔) は、1000mm 以内としてください。

コーナー部分 (入・出隅) のブラケットは、コーナー端部よりブラケット芯まで 55 ~ 100mm の範囲で取り付けてください。

エンド部分において、エンドカバー外側よりブラケット芯までの寸法 L は、55mm 以上 200mm 以下となるように取り付けてください [図 3]

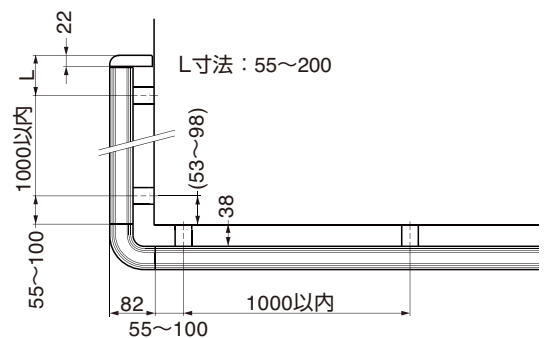


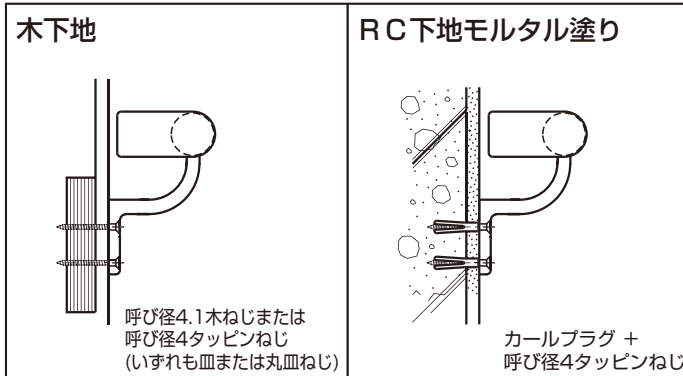
図 3

## 2. ブラケットの取り付け

注. アンカー、ねじ類は付属部品ではありません。お客様でご用意ください。

### 2-1 手すり下地別取付例

#### LR-301、LR-303 ブラケット

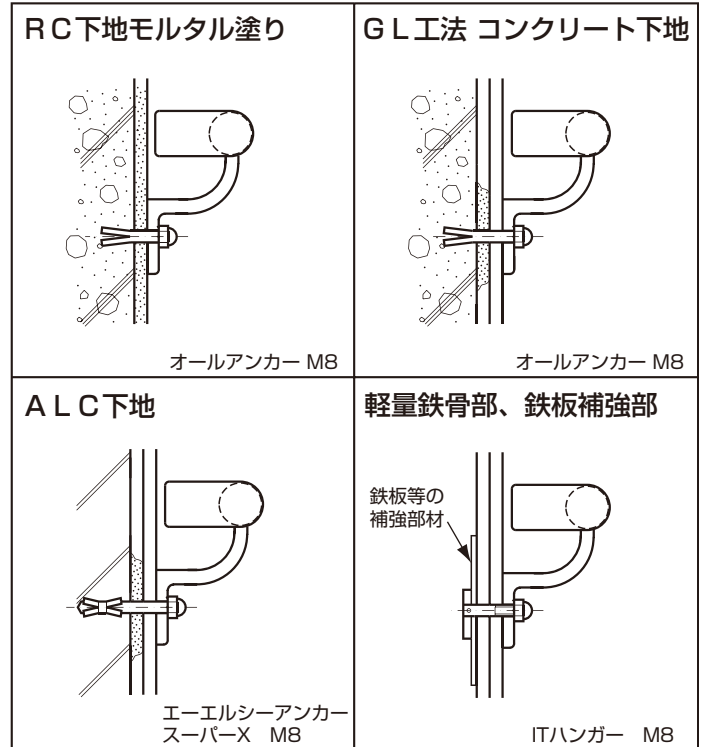


アンカーおよびねじの長さは、固定する壁・下地の構造にあわせて確実に固定できる長さのものを選択してください。

### 2-2 ブラケットの取り付け

壁面の構造に適したアンカー・ねじを選定し、前項 1 で決めた壁面取付位置に、ブラケットを仮止めしてください。

#### LR-300 ブラケット



## 3. 手すり芯材の取り付け

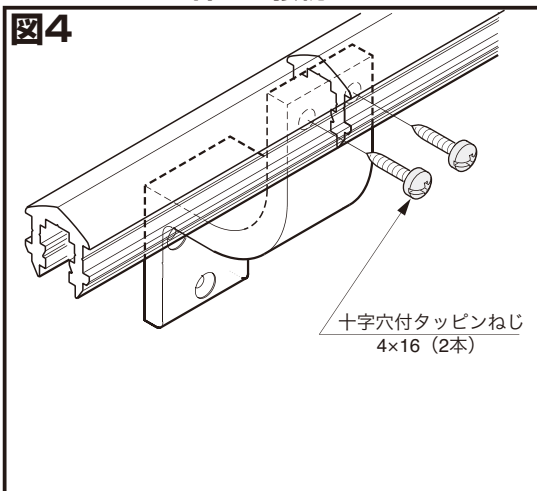
### 3-1. 手すり芯材の接続方法

手すり芯材の接続方法は、図 4、図 5 に示すように 2 通りあります。図 4 ブラケット部での接続が基本ですが、ブラケット部で接続ができない場合は、芯材ジョイントを使用してください。

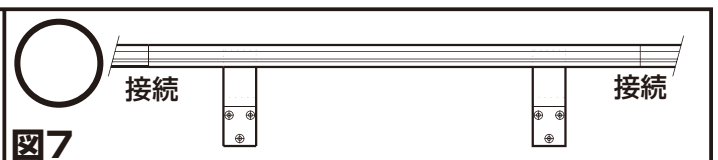
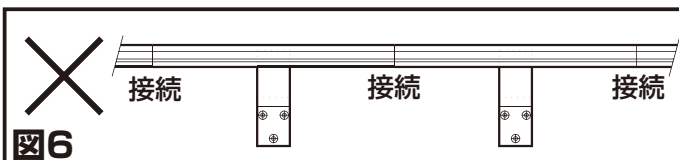
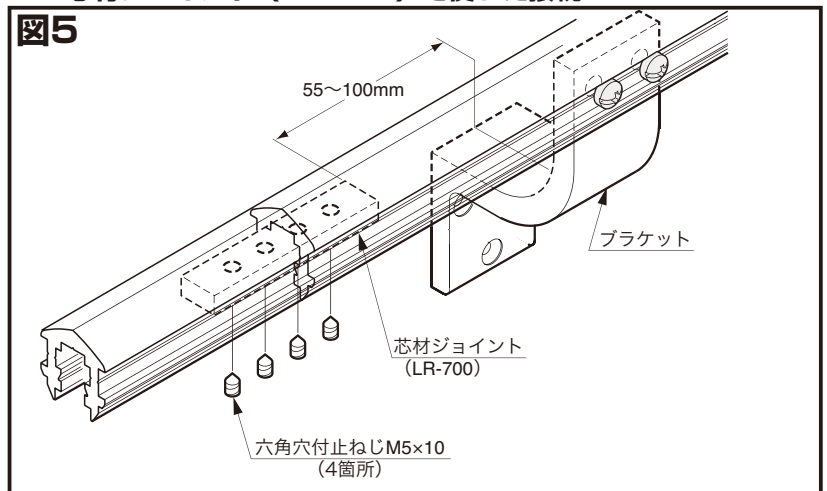
注 1：芯材ジョイントを使う場合、手すり芯材の連結部はブラケット中心部より 55mm ~ 100mm の位置としてください。[図 5]

注 2：一本の手すり芯材に、必ずブラケットが 2 個以上取り付けられるように配置・接続してください。[図 6、図 7]

#### 1. ブラケット部での接続



#### 2. 芯材ジョイント (LR-700) を使った接続



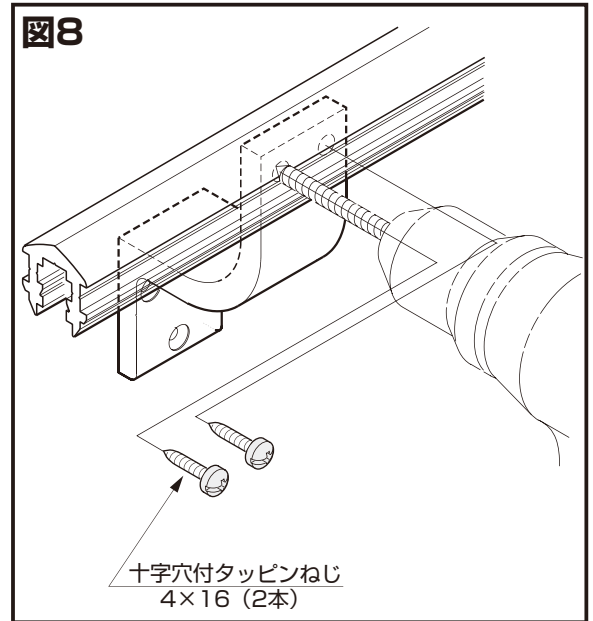
## 3-2 手すり芯材の取付方法

手すり芯材 LR-100 をブラケットに載せます。コーナー部がある場合、先に入・出隅コーナー (LR-502) を、端部が入隅となり、後からエンドカバー (LR-602) を差し込めない場合は (芯材端部と壁の隙間 53mm 以下の場合) エンドカバーを、先に手すり芯材に差し込み、六角穴付止めねじ M5 × 10 で締め込んで、固定しておきます。

手すり芯材のレベル・通りおよびブラケット上端にきちんと手すり芯材が接地しているか確認した後、手すり芯材手前側よりブラケットを貫通するようにφ 3.6 ドリルで下穴をあけ、さらに手すり芯材をφ 4.2 ドリルで追加工後、十字穴付タッピンねじ 4 × 16 で手すり芯材とブラケットを固定します。

固定した後、再度手すり芯材のレベル・通りを確認し、ブラケットを本締めしてください。

本締め後、手すりにガタつきがないか、ねじ類のゆるみがないか、必ず確認してください。



## 4. 手すりカバーの取り付け

### 4-1 手すりカバーの切断寸法

手すりカバーを現場寸法に合わせて切断する場合は、実測値よりも 1 ~ 1.5% 長めに切断してください。端に取り付ける手すりカバーの場合、次項に記述する 1 ~ 1.5mm の出っ張りも長さ寸法に入れて計算してください。

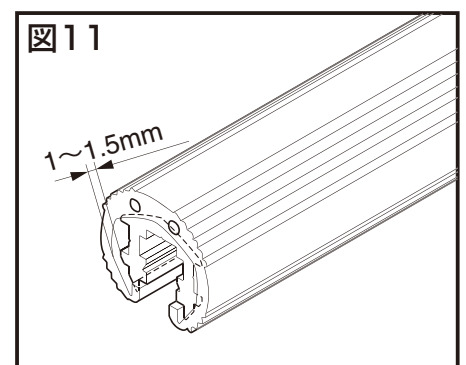
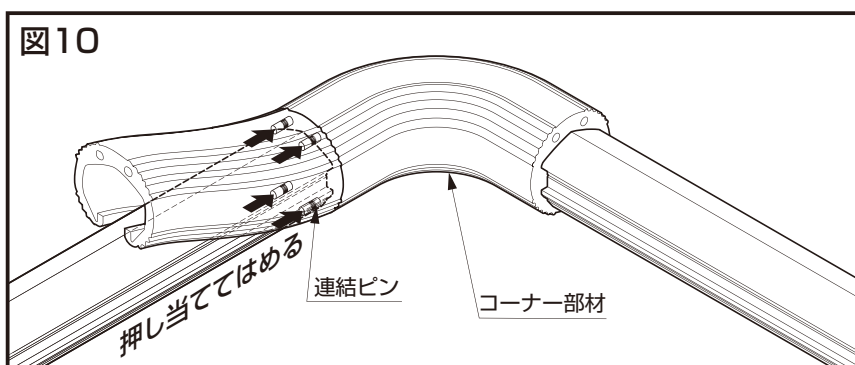
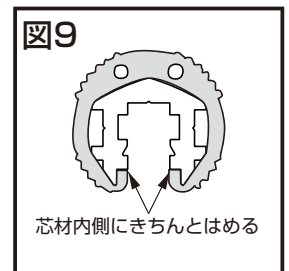
また手すりカバーの切断は、端部が波をうたないようによく切れる刃物で一気に押し切りしてください。

### 4-2 手すりカバーの取付手順

#### 取付概要

- 1: 手すりカバーは芯材内側にきちんとはめてください。[図 9]
- 2: コーナー部材 (入・出隅コーナー / LR-502) を使用している場合、コーナー部材に連結ピン (LR-711) を奥まで (約 6mm) 差し込んでください。手すりカバー (LR-201) をコーナー部材の付いている側から連結ピンに差し込み、手すり芯材に押し当てるようにしてはめ込みます。[図 10]
- 3: コーナー部材を使用していない場合は、手すり芯材端部より手すりカバーをはめ込んでください。

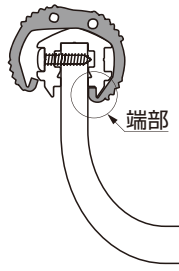
注) 上記のいずれの場合も、エンドカバーを取り付ける両端部は、手すりカバーが手すり芯材より 1 ~ 1.5mm 出っ張るようにはめ込んでください。[図 11]



## 取付手順（手すりカバーを楽に取り付けるために…）

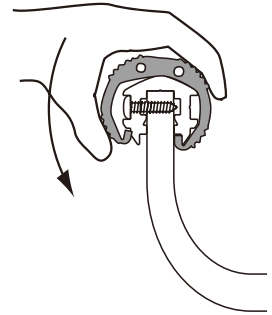
### 手順 1.

手すりカバー（ゴム：LR-201）  
端部をアルミ芯材の壁面側下端  
に引っ掛けます。



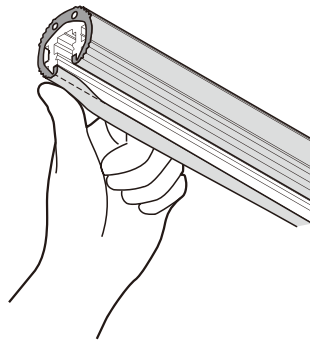
### 手順 2.

手すりカバーをねじり  
ます。



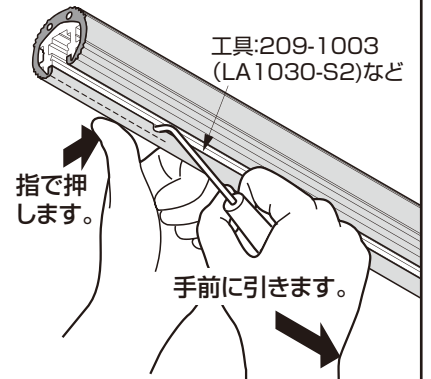
### 手順 3.

手すりカバーの反対側端  
部を手すり芯材端部に  
引っ掛けます。



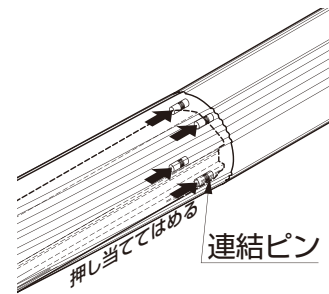
### 手順 4.

先端の尖った千枚  
通しのようなもの  
を手すりカバー  
（ゴム）と手すり芯  
材の間に差し込  
み、手前に引きな  
がら順送りに被せ  
ます。



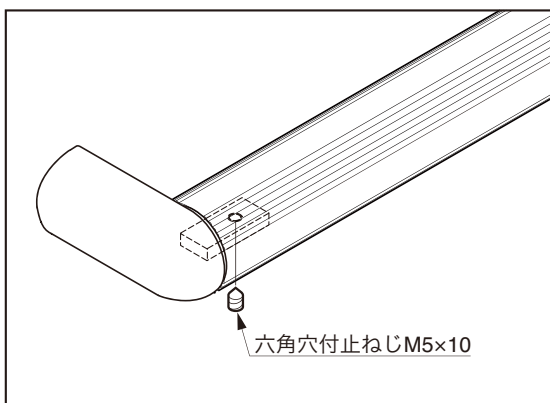
## 4-3 手すりカバーの連結

手すりカバー同士を連結する場合、凍結ピン（LR-711）  
を均等にカバーの穴に差し込んで接続し、上記取付手順  
で手すり芯材に被せます。



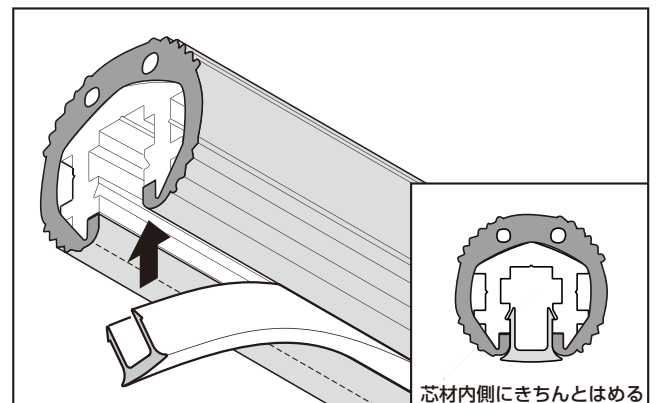
## 5. エンドカバーの取り付け

エンドカバーゴム（LR-602/LR-603）に連結ピン（LR-711）  
を差し込み、手すり芯材にはめ込みます。  
エンドカバー外側が手すり芯材にあたるまで、出っ  
張らせた手すりカバーを押し縮めながら差し込み、  
下部より六角穴付止ねじ M5 × 10 で締め付けます。



## 6. 裏面カバーの取り付け

手すり下の溝部に、裏面カバー（LR-400）をブラケッ  
ト内寸法で切断してはめ込んでください。[図 13]



## 7. 最終確認

最後に、手すりにガタつきやその他の不具合がないか良く確認をして、作業を終了してください。

## 8. 日常のメンテナンス

清掃は、しぼった雑巾で水拭きしてください。汚れのひどい場合には、うすめた中性洗剤を使用してください。シンナー、灯油等の溶剤は使用しないでください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

**SUGATSUNE** **スガツネ工業**  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001(JSAQ384)・ISO14001(JSAE597) 審査登録  
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター  
<http://www.sugatsune.co.jp/>